

国の浸水対策登録制度に、小倉北区の旦過市場（神嶽川）など、都心部の浸水対策である「北九州市小倉都心部浸水対策推進プラン」が、登録されました。また、伝達式を下記のとおり実施いたします。

### 1 国の登録制度（「100mm/h 安心プラン」）の概要

- (1) 近年、短時間の局地的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）等により、浸水被害が多発していることから、局地的な大雨に対しても住民が、安心して暮らせるよう、河川と下水道の整備や住民等が参画したソフト対策により、浸水被害の軽減を図る計画を国が支援するもの
- (2) 市町村からの申請により、国土交通省水管理・国土保全局長がその計画を登録。

100mm/h 安心プランの名称は、ゲリラ豪雨の激しさを象徴するものとしてネーミングされたものであり、100mm/h の降雨を対象に整備するものではありません。

### 2 市の計画の概要

- (1) 計画名：「北九州市小倉都心部浸水対策推進プラン」
- (2) 計画期間：平成 27 年度～平成 36 年度(10 年間)
- (3) 登録日：平成 27 年 2 月 3 日
- (4) 対象範囲：小倉都心部（主に神嶽川流域(旦過市場を含む)）
- (5) 計画概要

対象範囲において、河川と下水道事業の整備を重点的に推進する。

また、防災情報の周知などソフト対策も併せて実施することにより、浸水被害の軽減を図る。

- (6) 期待される効果

対象範囲において、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）の重点配分が期待され、平成 25 年 7 月 3 日豪雨相当の雨が発生した場合、浸水被害の軽減や浸水エリアの縮小、安全度の向上を図ることができる。

### 3 登録伝達式

- (1) 日時：平成 27 年 2 月 13 日（金）10:30～10:45
- (2) 場所：北九州市庁舎 5 階 特別会議室 A（小倉北区内 1 - 1）
- (3) 内容：国土交通省九州地方整備局から本市への登録証の伝達
- (4) 出席者：国土交通省 九州地方整備局 河川部長、建政部都市調整官

福岡県 北九州県土整備事務所長

北九州市 副市長

伝達式終了後、事務局にて取材対応を行う予定です。

#### 問い合わせ先

（プランの制度、河川事業について）

北九州市 建設局 水環境課

担当 山脇、関川（Tel：093-582-2491）

（下水道事業について）

北九州市 上下水道局 下水道計画課

担当 平田、福永（Tel：093-582-2480）

# 【計画名称】 北九州市 小倉都心部浸水対策推進プラン

## 流域の概要

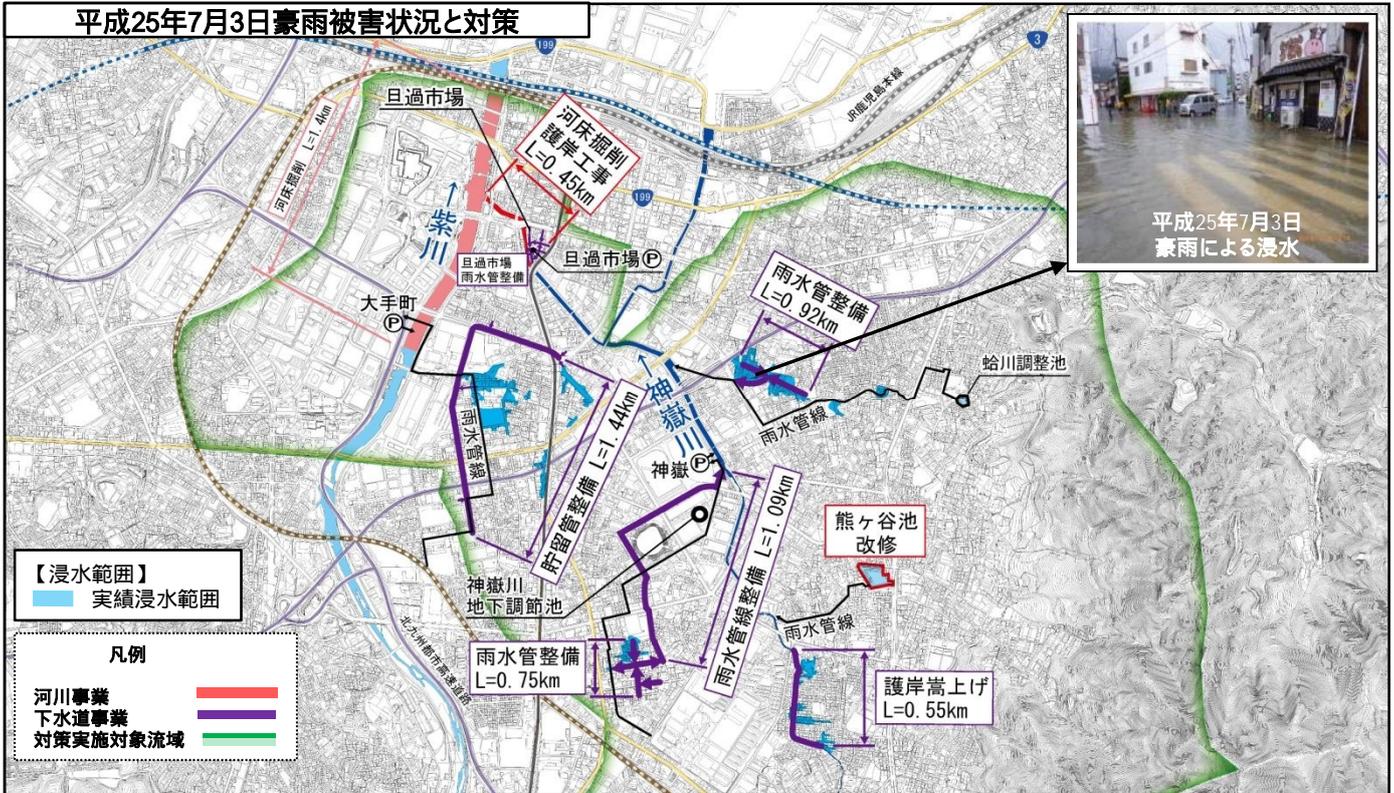
神嶽川流域を中心とする小倉都心部では、近年多発する局地的豪雨により、浸水被害が発生  
平成25年7月の豪雨では、床上1戸、床下54戸の浸水被害が発生

【北九州地方における時間雨量50mm以上の発生回数】

・過去 (H6 ~ H15) 10ヶ年での発生回数は2回 (10年に2回) **2倍** → ・近年 (H16 ~ H25) 10ヶ年での発生回数は4回 (10年に4回)

頻発する局地的豪雨に対して早急な浸水対策が急務  
小倉都心部浸水対策推進プランは、平成25年7月3日の降雨を対象とする

## 平成25年7月3日豪雨被害状況と対策



## 取組内容

< 計画期間: H27年度 ~ H36年度 >

### 河川整備

神嶽川における巨過市場のまちづくりと併せた川底の掘削、護岸の整備等により、雨水を安全に流す

### 下水道整備

雨水管や雨水貯留管等の整備により、速やかに雨水を排水

### 浸水被害軽減対策

- ・公共施設(ため池)での流出抑制
- ・「巨過市場休憩所」にてハザードマップを掲示
- ・市民と行政による水防訓練や商業施設等の大型画面を用いた啓発活動、防災の出前講演の実施
- ・防災の出前講演を行う中で、防災情報のメール自動送付サービスへの登録を周知

## 取組効果

河川と下水道が連携して整備を実施するとともに、関係機関が一体となり、浸水対策を取り組むことにより、対象とする降雨と同規模の降雨に対して、流域内の浸水被害の軽減や浸水エリアの縮小、安全度の向上を図る。